



たばたあずみ

Tel・Fax 550-6674



山根とみえ

Tel・Fax 550-4224



戸沢ひろゆき

Tel・Fax 558-9721

## 戸沢ひろゆき議員の一般質問

2013年3月定例市議会において戸沢ひろゆき議員が行った一般質問は次の三点です。ぜひ、公式あきる野市ホームページの市議会中継をアクセスして頂き、市当局との論戦を理解していただきたいと思ひます。

### いきいきセンターの通年開設を求める

#### 登壇の質問

いきいきセンターは健康増進の施設として多くの市民が利用しています。医療機関からも日常的に行う水中ウォークは健康に役立つと推奨されている。介護予防や医療費抑制の見地からも通年開設すべきであり、「行革」の対象にするのは良くない。市の見解を問うと質問しました。

#### 市側の回答(主旨)

市は、個人利用者が減少傾向にあり、冬季の運行休止と運営時間を短縮した。プール活用の健康増進は五日市ファインプラザや市民プールにおいて行われている。いきいきセンター利用者数は前年並みで推移、一人当たり運営経費は他の施設より高い。効率的、効果的に行政運営に勤める必要があるとの回答です。

#### 再質問

水中ウォークは水の抵抗による運動効果で筋肉が発達し、

基礎代謝があがり「太りにくい身体」に、心拍機能が高まる。継続すると酸素を取り込む能力が向上。血液の循環が良くなり肩こり、腰痛の解消になる。気持ちがりラックスストレス解消に役立つ。自然と体温調節が向上する。心臓病、心筋梗塞、脳卒中・脳梗塞の予防になる。老化防止、肥満防止、「ボケ防止」「不眠症」糖尿病などの効果があるといわれている。この水中ウォーク効果はどこで調べたと思うかとの問いに市側は回答出来ません。戸沢議員は、あきる野市のホームページに掲載されていることを指摘しました。その上で、医療費の抑制に役立つものだと指摘。新潟県見附市の「あるこう条例」の施策の効果を述べました。さらに利用者からは、使用料金の値上げをしても、冬季も開催して欲しいの声があることを紹介し再検討するよう強く求めました。

### 餓死・孤立死を起こさないような地域を

#### 登壇の質問

立川市で餓死・孤立死が起こり社会問題となっている。私は22年に稲城市での「介護ボランティアチケット制度」を紹介したが、地域での見守り活動と近所の絆の必要性を提唱してきた。市の後期基本計画を作成するに当たり、体制づくりを求め質問する。

#### 市側の回答(主旨)

市では、見守り事業を実施。高齢者配食サービスや緊急通報システム事業を行っている。地域包括センターで身近な相談窓口として民生委員と連絡をとったり町内会・自治会の方々と訪問活動を行っている。

#### 再質問

立川市では、副市長を代表にして「対策室」をつくり、各種組織・団体と協議が始まった。市では、民生委員、町内会、ふれあい福祉委員などが激務で大変できつい「見守り」活動になっていることから、しっかりと実態を把握し、地域が高齢化していることを認識して欲しい。担当任せにせず、市あげて立川市のように、餓死・孤立死など起こさない「対策室」を設けて、お年寄りが地域で安心して明るく暮らせるよう後期基本計画に取り入れて実行するよう求めました。



買い物する高齢者に寄り添う地域の支援活動

### スケートボードについて

若者の「居場所」「たまり場」を地域につくることが求められているという立場からスケートボード会場をつくることを求めました。市は、専用場所は難しいと答えましたが、秋川体育館西側の道路を使用してスケートボードを行っていることについては、モラルを守れば使用しても差し支えはないと回答しました。戸沢議員は、若者たちが集まる「まちづくり」は長期構想のテーマであり課題として取り組むことを求めました。

#### 法律相談

4月25日(木) 13時30分~15時

予約が必要です。市議団までご連絡ください。